

第30回ヒューマンライツセミナー

グローバル経済を支える 奴隷労働 —移住の側面から—

2021年10月1日（金）午後4時～6時

基調報告 小保方智也
（現代的形態の奴隷制に関する国連特別報告者）

報告 旗手明（自由人権協会理事）
佐藤暁子（弁護士、ビジネスと人権リソースセンター日本リサーチャー・代表）

進行 小森恵（反差別国際運動 事務局長代行）

*オンライン開催 *参加費：1000円
*お申し込みは[こちら](#)（9月27日締め切り）

世界には奴隷状態のもと働いている人が4000万人いるといわれる。強制労働、債務労働、人身取引、幼児婚など、現代奴隷の被害者の多くが、女性、子ども、そして社会的に脆弱な立場にある人びとだ。人、モノ、資本の自由な移動のうえに成り立つグローバル経済はこれら労働者の犠牲なくしては成り立たない。現代奴隷は世界そして日本に存在する。この人権問題について、移住の側面より、国連と国際人権法、外国人労働者問題、そしてビジネスと人権の専門家に議論していただく。

主催：第30回ヒューマンライツセミナー実行委員会

反差別国際運動、同和問題に取り組む全国企業連絡会、同和問題に取り組む宗教教団連帯会議、部落解放同盟中央本部、日本教職員組合、全日本自治団体労働組合、世界人権宣言中央実行委員会

連絡先：event@imadr.org

